

I 令和7年度事業報告書

1 庶務に関する事項

(1) 理事会の開催

- 第1回 ○日時 令和7年5月21日(水)
○場所 ルポール麹町 3階 アメジストの間
東京都千代田区平河町2-4-3
○議題 次の議案を審議、決議しました。
・令和6年度事業報告及び決算を承認する件
○報告 理事長及び専務理事の職務執行状況
- 第2回 ○日時 令和7年6月6日(金)
○場所 ルポール麹町 3階 アメジストの間
東京都千代田区平河町2-4-3
○議題 次の議案を審議、決議しました。
・理事長及び専務理事を選任する件
・専務理事の報酬額を決定する件
・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等を決定する件
- 第3回 ○日時 令和8年3月16日(月)
○場所 ルポール麹町 3階 アメジストの間
東京都千代田区平河町2-4-3
○議題 次の議案を審議、決議しました。
・令和8年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み、公益目的事業の種類及び内容を決定する件
・評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等を決定する件
○報告 理事長及び専務理事の職務執行状況

(2) 評議員会の開催

- 第1回 ○日時 令和7年6月6日(金)
○場所 ルポール麹町 3階 アメジストの間
東京都千代田区平河町2-4-3
○議題 次の議案を審議、決議しました。
・令和6年度決算を承認する件
・評議員を選任する件
・理事及び監事を選任する件

・令和6年度事業報告の件（報告事項）

第2回 ○日時 令和8年3月16日(月)

○場所 ルポール麹町 3階 アメジストの間
東京都千代田区平河町2-4-3

○議題 次の議案を審議、決議しました。

- ・令和8年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み、公益目的事業の種類及び内容を承認する件
- ・評議員を選任する件

2 事業活動

(1) はじめに

当協会は、昭和59(1984)年に視覚障害者食生活改善協会として創立されて以来、組織の変遷を経つつも、継続して視覚障害者や高齢者など日常生活にハンディがある人々に対し、必要とされる食生活に関する知識や情報をお届けするため、様々な活動を行っております。

令和7(2025)年度においては、従来の活動の成果を踏まえつつ、高齢者や視覚障害者等への食生活に関する知識と情報の提供、食生活自立支援及び食育に関する事業を推進してまいりました。

まず、食生活に関する情報提供の事業として、協会創立以来継続している視覚障害者向けの月刊「声の食生活情報」の制作、配布を行うとともに、長谷川あかりさんの「一緒に炊くだけ 炊き込みごはん」の作成、配布を行いました。

また、視覚障害者の食生活の自立を支援するため、視覚障害者向けに「稲田俊輔さんのシンプルでおいしい料理(上下巻)」及び「電子レンジでミートクッキング2」の作成、配布を行い、また、視覚障害者の方を対象とした食肉の料理教室や即席食品の料理教室を開催しました。

さらに、食育の推進に関する事業としては、シニア世代を対象にした食育セミナーや牛乳・乳製品を用いた料理教室を開催しました。

(2) 事業の内容

ア 視覚障害者への音声による食生活に関する情報の提供

① 月刊「声の食生活情報」

視覚障害者向けに食生活に関する知識と情報を録音した月刊「声の食生活情報」を制作し、希望に応じ、カセットテープ又はデージー(デジタル録音図書の国際標準規格)対応のコンパクトディスク(以下、「デージー版CD」という。)の形で、全国の点字図書館、盲学校、盲人援護施設、社会福祉協議会、視覚障害者個人などへ提供しました。

また、当協会の活動を広く認識していただくために、当協会のホームページ「すこやか食生活ネット」や視覚障害者向けの「サピエ図書館」からも音声提供して

います。この制作、発送に当たっては、多くのボランティアの方々のお世話になっています。

〔(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団助成事業〕

〔(一社)日本フードサービス協会助成事業〕

② 長谷川あかりさんの「一緒に炊くだけ 炊き込みご飯」の作成・配布

料理家 長谷川あかりさんにご協力をいただき、様々な食材を組み合わせ炊飯器に入れるだけという手軽さでおいしく調理できる炊き込みごはんの作り方を紹介する番組を作成しました。「声の食生活情報」で連載するとともに、デイジー図書としてCDに取りまとめ、関連する施設や視覚障害者に提供しました。

〔(公社)米穀安定供給確保支援機構共同事業〕

③ ホームページによる食生活情報の提供

当協会のホームページ「すこやか食生活ネット」で、毎日の食事の献立のヒントとなるレシピの紹介や様々な食生活情報の提供を行っています。

○「すこやか食生活ネット」 URL：<http://www.sukoyakanet.or.jp/>

イ 視覚障害者の食生活の自立支援

① 食生活改善に関する解説書の作成

視覚障害者が自立してより良い食生活を営むための実践の手引きとして、「声の食生活情報」で連載している「稲田俊輔さんのシンプルでおいしい料理（上下巻）」を作成しました。弱視の方を含む視覚障害者本人が利用できるよう、大活字に透明点字を載せ音声コードを付けています。

〔(一財)日本宝くじ協会助成事業〕

② 視覚障害者への食肉情報提供と料理教室の開催

シニア層の多い視覚障害者は、高齢者に一般的な動物性たんぱく質(食肉)の摂取不足がより大きな課題となっています。このため、食肉を利用した作りやすい料理レシピカード集「電子レンジでミートクッキング2」を、大活字に透明点字を載せ音声コードを付けて作成し、全国の社会福祉協議会などへ配布しました。また、それを教材として視覚障害者の方を対象に料理教室を開催しました。

〔(公社)日本食肉協議会助成事業〕

③ 即席食品を利用した料理教室の開催

視覚障害者、高齢者にとっても便利な即席食品を使って、野菜をしっかり摂取することを目的とした料理教室を開催しました。

〔(一社)日本即席食品工業協会助成事業〕

④ パンを利用した料理教室の開催

視覚障害者に配慮したパンレシピを使った料理教室を開催しました。

〔山崎製パン株式会社〕

ウ 食育の推進

① シニア食育講座の開催

シニア世代の食生活に関する課題に対応し、食生活環境を改善するため、様々な食に関する知識・手法を各分野の専門家から紹介いただく食育講座の動画を作成し、YouTube で公開しました。

② シニア料理教室の開催

高齢者を対象に、牛乳・乳製品を使った栄養バランスの良い新しいメニューの普及とそれを通じた牛乳・乳製品の持続的な消費拡大を図るための料理教室を開催し、牛乳が飲料としてだけでなく、料理の素材としても優れた食品であることの認識を広めるよう努めました。

〔関東生乳販売農業協同組合連合会助成事業〕

エ その他

「令和 6 年度食料・農業・農村白書のあらまし」音声紹介版の作成

農林水産省の公募に応じ、視覚障害者に令和 6 年度食料・農業・農村白書の内容を紹介し理解していただけるよう、白書のあらましを収録したデージー版 CD を作成し、点字図書館、盲学校、視覚障害者団体等に配布しました。

〔農林水産省公募請負事業〕

3 事業の実施経過

年 月	事 項
令和7年 4月	1 声の食生活情報4月号発行
5月	1 声の食生活情報5月号発行 2 第1回理事会開催
6月	1 声の食生活情報6月号発行 2 第1回評議員会開催、第2回理事会開催
7月	1 声の食生活情報7月号発行
8月	1 声の食生活情報8月号発行
9月	1 声の食生活情報9月号発行 2 高齢者の牛乳料理教室（江戸川区） 3 令和6年度食料・農業・農村白書のあらまし音声版配布
10月	1 声の食生活情報10月号発行 2 視覚障害者の食肉料理教室（新宿区） 3 高齢者の牛乳料理教室（江戸川区、横浜市） 4 視覚障害者のパン料理教室（文京区） 5 高齢者の即席食品料理教室（中央区）
11月	1 声の食生活情報11月号発行 2 視覚障害者の食肉料理教室（川口市、千葉市） 3 高齢者の牛乳料理教室（大田区） 4 高齢者の即席食品料理教室（中央区）
12月	1 声の食生活情報12月号発行 2 視覚障害者のパン料理教室（川口市） 3 「電子レンジでミートクッキング2」配布
令和8年 1月	1 声の食生活情報1月号発行 2 視覚障害者の食肉料理教室（藤沢市） 3 高齢者の牛乳料理教室（北区） 4 「稲田俊輔さんのシンプルでおいしい料理」配布
2月	1 声の食生活情報2月号発行 2 視覚障害者の即席食品料理教室（横浜市）
3月	1 声の食生活情報3月号発行 2 第3回理事会及び第2回評議員会開催 3 「長谷川あかりさんの『一緒に炊くだけ炊き込みごはん』」配布 4 シニア食育講座（WEBセミナー）開催

4 法人の運営体制の充実を図るための取組

社会的課題の解決に向けた事業の効果に係る定性的・定量的測定を充実させるため、料理教室を実施した際には、助成元からの要請の有無等にかかわらず、すべての事業でアンケート調査等の効果測定を実施しました。